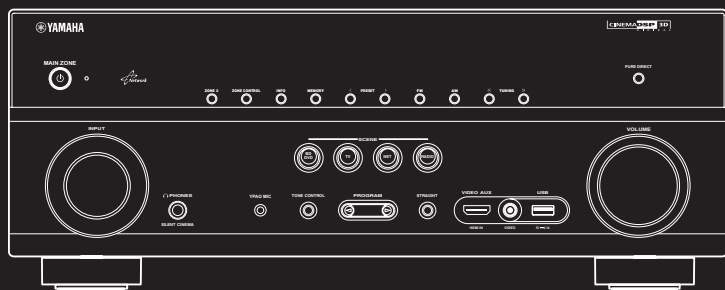


AV レシーバー

RX-V773

かんたん設置ガイド



本書では、5.1 または 7.1 チャンネルシステムを設置して、
本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。
詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

本書と「取扱説明書」の PDF 版を以下のウェブサイトからダウンロード
できます。

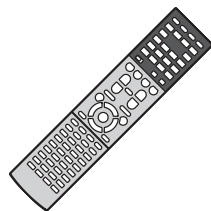
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

1 準備する

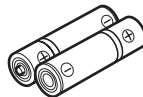
付属品を確認する

すべて揃っていることをお確かめください。

☐ リモコン



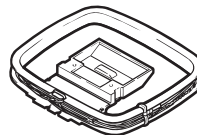
☐ 単 4 乾電池 (2 本)



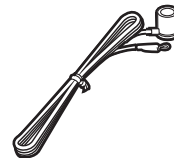
☐ 電源コード



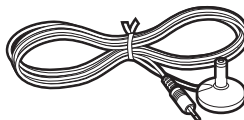
☐ AM アンテナ



☐ FM アンテナ



☐ YPAO 用マイク



☐ 取扱説明書



☐ かんたん設置ガイド (本書)



必要なケーブル

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

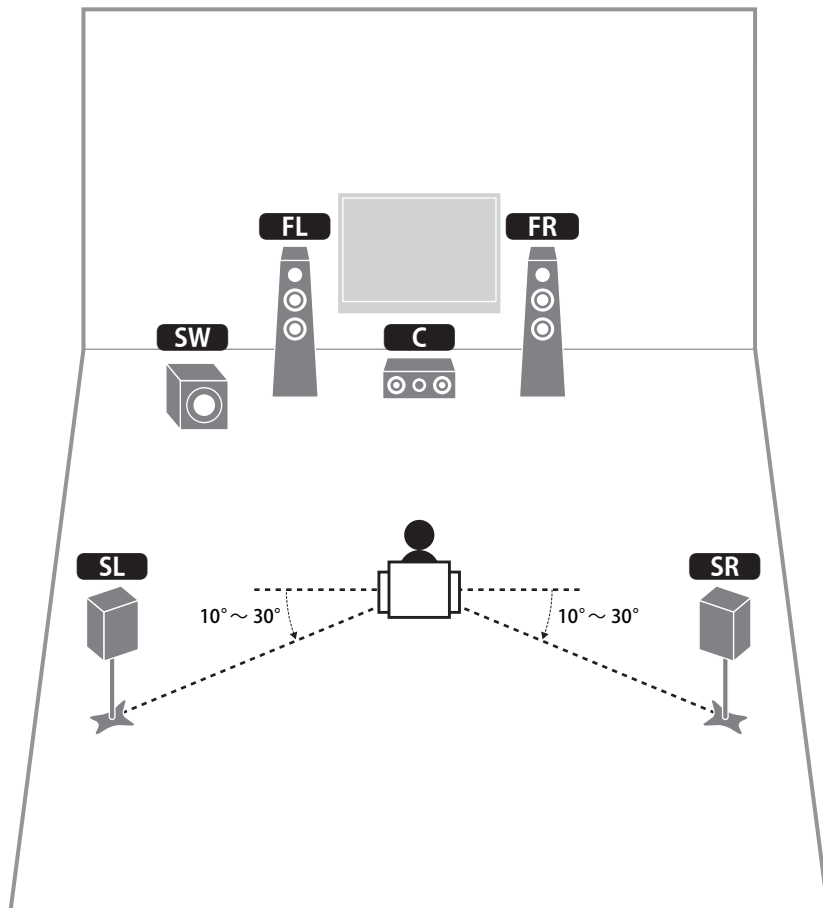
- スピーカーケーブル (スピーカーの本数分)
- HDMI ケーブル (2 本)
- モノラルピンケーブル (1 本)
- 光デジタルケーブル (1 本) ※ テレビがオーディオリターンチャンネル (ARC) 対応の場合は不要

2 スピーカーを部屋に配置する

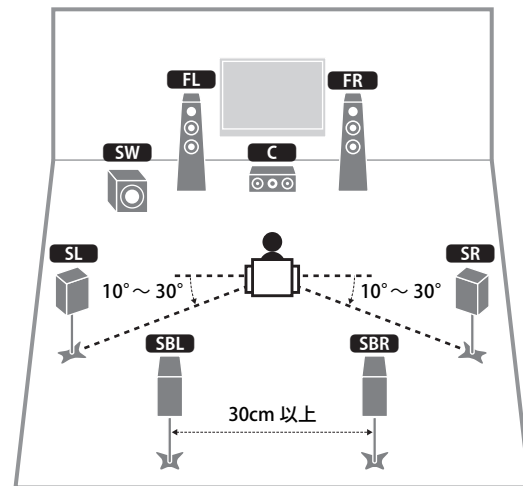
下図を参考に部屋にスピーカーを配置してください。

5.1 チャンネル、7.1 チャンネル以外のシステムでお使いになる場合は「取扱説明書」をご覧ください。

5.1 チャンネルシステム



7.1 チャンネルシステム



- FL** フロントスピーカー (左)
- FR** フロントスピーカー (右)
- C** センタースピーカー
- SL** サラウンドスピーカー (左)
- SR** サラウンドスピーカー (右)
- SBL** サラウンドバックスピーカー (左)
- SBR** サラウンドバックスピーカー (右)
- SW** サブウーファー

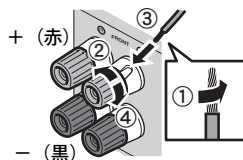
3 スピーカー / サブウーファーを接続する

- ・スピーカーはインピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- ・サブウーファーはアンプ内蔵のものをお使いください。
- ・スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- ・スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因となります。スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入ると、前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示されます。

スピーカーケーブルを接続する

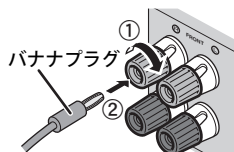
通常スピーカーケーブルは2芯（+と-）で1本になっています。片方で本機とスピーカーの-（マイナス）端子どうし、もう一方で+（プラス）どうしを接続してください。色で区別されている場合、黒を-（マイナス）側、もう一方を+（プラス）側と決めておくとも間違いずに接続できます。

- ① ケーブル先端の絶縁部（被覆）を10mmほどはがし、芯線をしっかりとよじる。
- ② スピーカー端子をゆるめる。
- ③ 端子側面（右上または左下）のすき間にスピーカーケーブルの芯線を差し込む。
- ④ 端子を締め付ける。



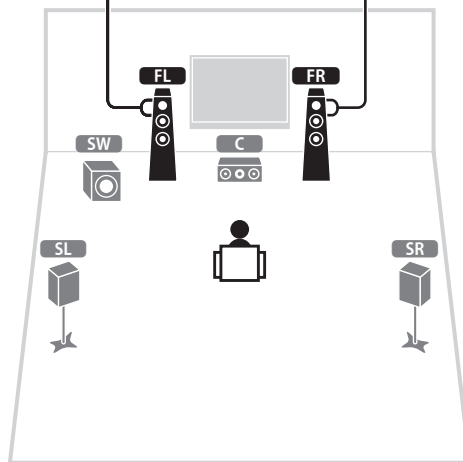
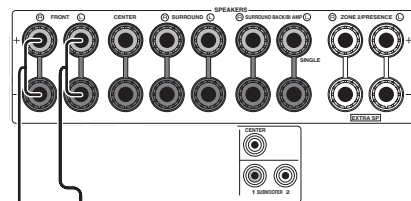
バナナプラグを使用する場合

- ① スピーカー端子を締め付ける。
- ② 端子にバナナプラグを差し込む。



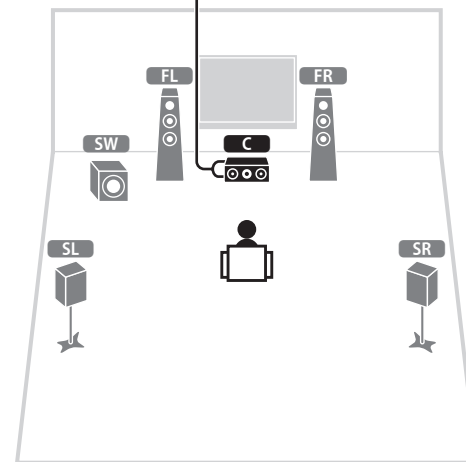
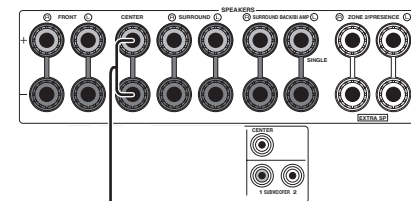
- 1 フロントスピーカー（**FL**/**FR**）を FRONT（**L**/**R**）端子に接続する。



本機（背面）

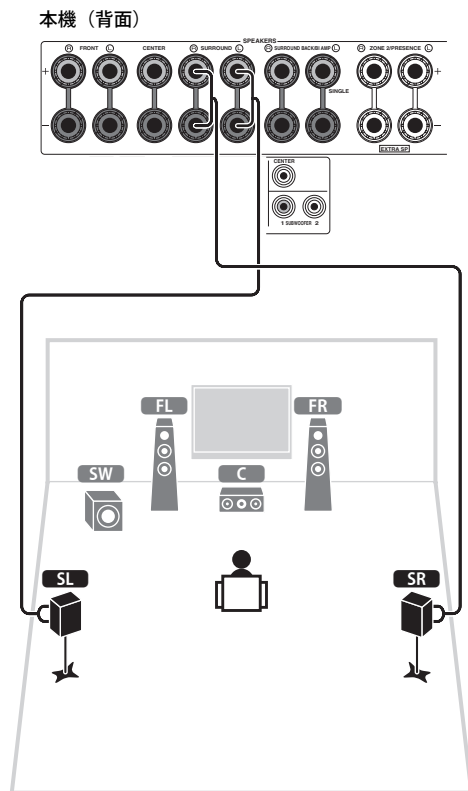


- 2 センタースピーカー（**C**）を CENTER 端子に接続する。

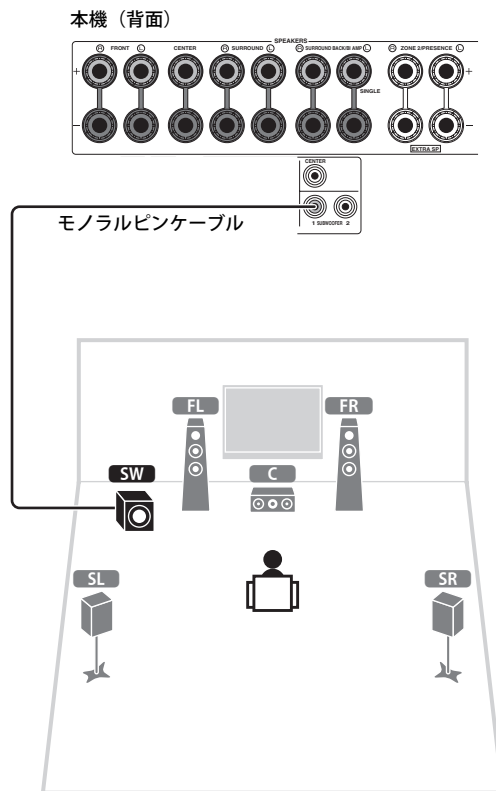
本機（背面）





- 3 サラウンドスピーカー（**SL**/**SR**）を
SURROUND（/）端子に接続する。

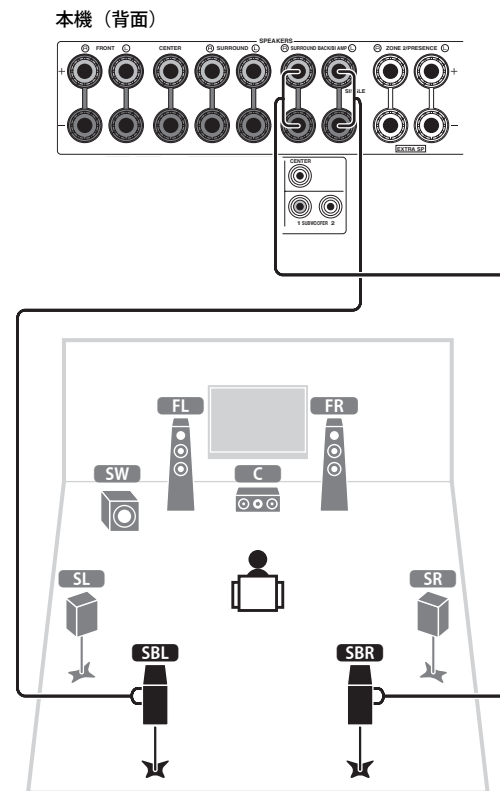


- 4 サブウーファー（**SW**）を SUBWOOFER
(1) 端子に接続する。

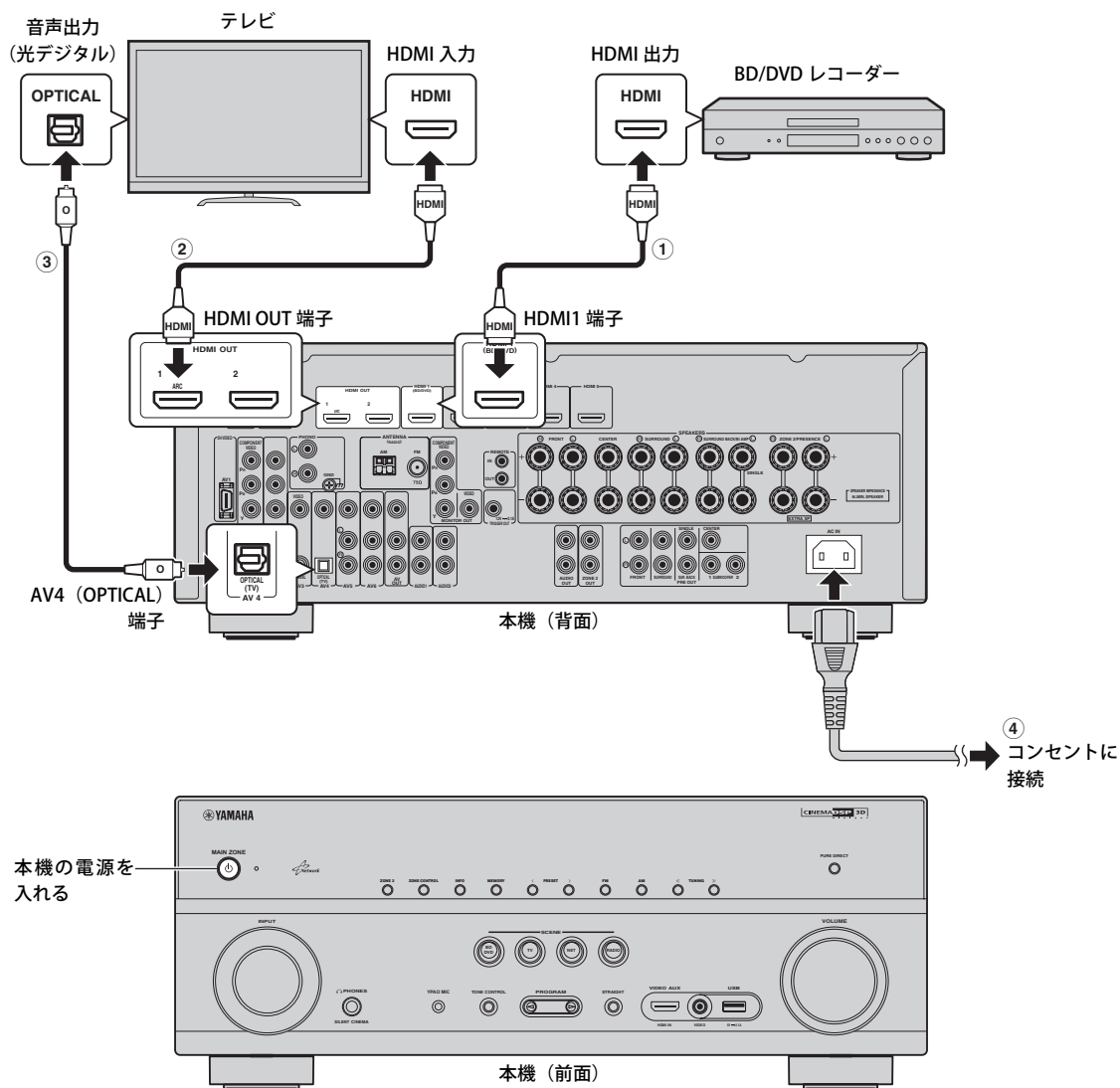


7.1 チャンネルシステムの場合

サラウンドバックスピーカー（**SBL**/**SBR**）を
SURROUND BACK（/）端子に接続する。



4 外部機器を接続する



1 外部機器を本機に接続する。

- ① HDMI ケーブルで BD/DVD レコーダーと本機を接続する。
HDMI ケーブルで BD/DVD レコーダーとテレビを直接接続している場合は、テレビからケーブルを取り外して、本機に接続してください。
- ② HDMI ケーブルでテレビと本機を接続する。
- ③ 光デジタルケーブルでテレビと本機を接続する。
この接続によりテレビ音声を本機で聴くことができます。オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応のテレビをお使いの場合は、この接続は不要です。
- ④ 付属の電源コードを本機に接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む。



- ・ラジオのアンテナや、ほかの機器を接続する場合は「取扱説明書」の「準備する」をご覧ください。

2 本機、テレビ、BD/DVD レコーダーの電源を入れる。

3 テレビのリモコンを使って、テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。

これで接続は完了です。次ページでスピーカー設定の自動調整を行ってください。

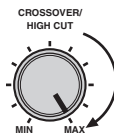
5 スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO: Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

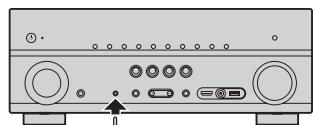
- 測定中は大きな音が出されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分にご配慮ください。また、ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- 測定中は音量を調節できません。
- 測定中は部屋を静かに保ってください。
- ヘッドホンは接続しないでください。
- 測定中は部屋の隅に移動するか退出して、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。所要時間は約 3 分です。

YPAO を始める前の準備

サブウーファースの電源を入れて、音量を半分に調節します。クロスオーバー周波数を調節できるサブウーファースをお使いの場合は、周波数を最大にします。



本機 (前面)



YPAO 用マイク

YPAO 用マイクを視聴位置 (耳の高さ) に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。



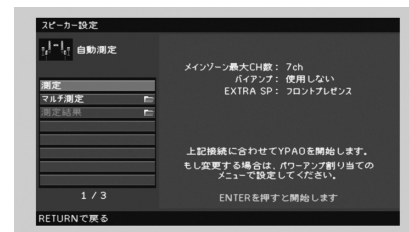
耳の高さ



カーソルキー
ENTER
RETURN

1 YPAO 用マイクを前面の YPAO MIC 端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。

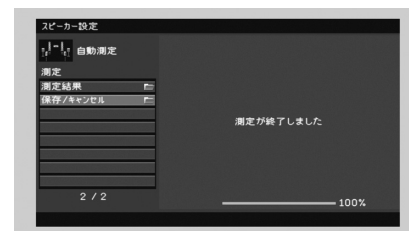


- 操作を中止する場合は、測定前に YPAO 用マイクを取り外します。

2 測定を始めるには、カーソルキーで「測定」を選び、ENTER キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。

測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



- エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。
- 警告メッセージ「W-1: SP 接続逆相」が表示された場合は『「W-1: SP 接続逆相」が表示された場合』(次ページ) をご覧ください。

- 3** カーソルキーで「保存 / キャンセル」を選び、ENTER キーを押す。



- 4** カーソルキーで「保存」を選び、ENTER キーを押す。



- 5** YPAO 用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

YPAO 用マイクは熱に弱いため、高温になる場所（AV 機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

「W-1:SP 接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。
スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていても警告メッセージ「W-1：SP 接続逆相」が表示されることがあります。



- ① カーソルキーで「測定結果」を選び、ENTER キーを押す。
- ② カーソルキーで「結線確認」を選ぶ。
- ③ 「逆相」と表示されているスピーカーのケーブル接続（+と-）を確認する。

正しく接続されている場合：

測定結果をそのまま保存して問題ありません。

RETURN キーを押してから、手順 3 以降を実行してください。

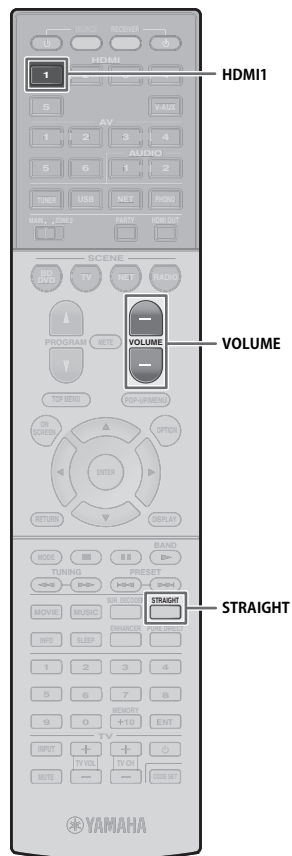
間違って接続されている場合：

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度 YPAO を実行してください。

6 BD/DVD を再生する

実際に BD/DVD を再生してみます。

サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch 以上) が収録されているディスクの再生をおすすめします。



1 HDMI1 キーで本機の入力を「HDMI1」に切り替える。



2 BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。

3 STRAIGHT キーを繰り返し押し続けて「STRAIGHT」を選ぶ。



4 VOLUME キーで音量を調節する。



これで 5.1 または 7.1 チャンネルシステムを設置して、本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。

音声がサラウンドにならない場合

マルチチャンネル音声を再生してもフロントスピーカーからしか音が出ない
BD/DVD レコーダー側のデジタル音声出力設定をご確認ください。

PCM など、常に 2 チャンネルで出力する設定になっている可能性があります。

音が出ないスピーカーがある

「取扱説明書」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

さらにこんな機能も！

ほかにもたくさんの機能があります。

別冊の「取扱説明書」をご参照のうえ、本機の性能を十分にご活用ください。

BD/DVD レコーダー以外の機器を接続する

CD プレーヤーやレコードプレーヤーなどのオーディオ機器、ゲーム機やビデオカメラなどさまざまな外部機器を接続できます。

好みのサウンドを選ぶ

映画、音楽、ゲーム、スポーツ番組など、視聴する内容に合わせてお好みの音場プログラム (シネマ DSP) やサラウンドデコーダーを選べます。

iPod の曲を再生する

iPod 付属の USB ケーブルを使って、iPod の曲を本機で再生できます。

- FM/AM ラジオを聴く
- USB 機器の曲を再生する
- パソコン (サーバー) の曲を再生する
- インターネットラジオを聴く
- iTunes/iPod の曲をネットワーク経由で再生する (AirPlay)

詳しくは「本機でできること」をご覧ください。